

コロナワクチンの配分状況は

7月2日の追加配分で、高齢者分の全てが配分される。

市長



金子 憲太郎 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

議員 国からのワクチン配付状況を伺いたい。

市長 現在、7月2日に追加配分される4,095

人分とこれまでの配分を合わせると1万9,695人分となり、市内の高齢者分は全て配分される。

議員 老人施設(特養)の職員は医療従事者や高齢者に合わせて先行接種

するとなっていたが、訪問介護、デイサービス、鍼灸院、整骨院などと老人と直に接する人たちも先

行して接種をするべきではないか。

福祉保健部長 通所系や居

宅あるいは訪問介護の施設などに、優先接種の名簿を出していただくよう通知している。また、社会生活を支えるために必要不可欠な仕事に就いておられる方たちなども対象として検討している。

議員 集団接種会場の業務を行う職員も、先行接種をしてよいつの通知が

来ているということだったがどのようにしているのか。

福祉保健部長 現在、高齢者に対する接種を優先させたいという思いで実施している。

このため、接種会場に従事する職員については、健康チェックをした上で受付業務等を行っており、感染予防対策として、マスクを着用した上にフェイスシールド、そして簡易型の防護エプロンを着用して業務している。

議員 他部署からの応援者に対しては、本来の業

務に支障が出ないような体制を取れているのか。

福祉保健部長 集団接種会場の運営に当たっては、1会場29名体制で行っており、そのうち受付事務などの応援として、他部

局から1会場に5人、現在、2会場で実施しているため、計10人の応援職員をお願いしているが、できるだけ通常業務に支障がないようなローテーションを組んでいただくようお願いしている。

議員 今後、豪雨災害や

台風などで、避難所の管理と予防接種業務が重複することが予想されるのでしっかりとした対策を立てておいてほしい。



新型コロナウイルスワクチン接種模擬訓練の様子



質問の様子を動画で見よう

2,078名の深江町民の声に誠実に答えてほしい

今度できる新しい給食センター1か所を供用する。

市長



小林 知誠 議員

学校給食について

議員 新給食センターでも、細菌による食中毒の可能性はあると考えるが。

教育長 新給食センターでも絶対に発生しないと

は言えない。子供たちを食中毒から守るためには、1センターより複数のセンターが安全だと考えるが。

教育長 1センターの新たな学校給食が安全だと認識している。

議員 75名いる食物アレルギーの児童・生徒のうち、9月から代替食の給

食提供ができる児童・生徒は何名か。

教育次長 12名である。

議員 21億9千万円投資して、新給食センターを建設し、出発時点の9月に完全に代替食にできるのが、僅か16%の達成率に市民が納得すると考えるか。

教育長 初め、鶏卵から始めていき、それを広めていけば確実にアレルギー関係の提供ができる。

議員 深江給食センターに寄せる、2,078名の深江町民の賛同の声を添えた要望書を、6月9日

市長に届けた。要望の一つに、給食センターは近いところ

にあったほうが子供たちのためよい。だから、深江のセンターは残してほしい。この要望は無理な要望か。

市長 私にとって無理か無理でないというよりも、深江の皆さんがそ

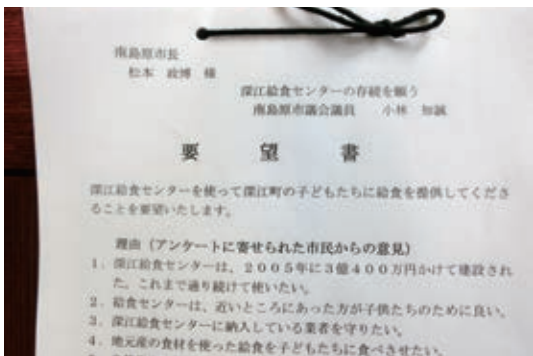
う思っている表れである。

議員 2,078名の深江町民の声に誠実に答えてほしい。

市長 私としては、深江町民の声を受け止めたところである。今度できる新しい給食センター1か所で作って8地区の学校に運んでいく。

議員 少しは、市民が主人公、税金は市民のためを使うという心があるなら、少し歩み寄って、深江町民の願いをかなえる何かをしてほしいと思っ

たが、今の答弁でそれも駄目だと受け止めた。



願いが込められた要望書 2,078 筆



質問の様子を動画で見よう